

	<p style="text-align: right;">事前のお知らせ</p> <h2 style="text-align: center;">写真展「がんとともに生きる」 ～がんとともに自分らしく生きる人々の笑顔～</h2>
と き	3月4日(金)から7日(月)まで
と ころ	区役所本庁舎アトリウム(豊玉北6-12-1)
<p>区は、4日(金)から、若年層へのがん予防を啓発するため、写真展「がんとともに生きる」とパネル展「AYA世代のがん」を開催する。</p> <p>写真展は、がんになっても笑顔で暮らせる社会を目指して活動する「LAVENDER RING」とのコラボで取り組む。LAVENDER RING 発起人のひとりが区内在住ということから、企画の実現につながった。</p> <p>今回展示する写真は、LAVENDER RINGが行っているイベント「MAKEUP & PHOTOS WITH SMILES」で制作したもので、がんに罹患したことのある人たちが、その人らしくメイクし、いきいきとした姿を披露している。</p> <p>同時開催のパネル展「AYA世代のがん」は、区と協力してがん予防啓発に取り組む、順天堂大学練馬病院がん治療センターがパネルを作成。「AYA世代のがん」、治療中も自分らしく過ごすための「アピアランスケア」、病気がわかったときからの「緩和ケア」、「がん相談支援センター」を紹介、がんに関する冊子も配布する。</p> <p>区担当者は、「がんとともに自分らしく生きている人たちの素敵な笑顔を見てください。がんになった人も、がんになっていない人も、きっと勇気をもらえるはずです。」と話す。</p>	



▲LAVENDER RINGが過去に実施した展示

【AYA世代のがん】

AYA世代とは Adolescent and Young Adult (思春期・若年成人)の頭文字をとったもので、主に15歳から30歳代の世代を指す。AYA世代は進学・就職・結婚など、多くの人にとって、親からの自立や、生活の中心が家庭や学校から社会での活動に移るなど、大きな転換期でもある。このような時期にがんになると、心身に大きな影響を受けることになる。

【参考】LAVENDER RING

がんになっても笑顔で暮らせる社会を目指して、2017年に発足。企業や人、行政、学校、病院など、活動の趣旨に賛同した有志の方たちが自由に参加し、それぞれが「できること」を持ち寄りながら、がんになっても笑顔で暮らせる社会の実現を目指して具体的なアクションを起こしていく。

「MAKEUP & PHOTOS WITH SMILES」は、がんサバイバー*をその人らしくメイクし、そのいきいきとした姿を写真に収めて発信しようという活動。がんサバイバーの皆さんに資生堂のスタッフがヘア・メイクアップを施し、フォトグラファー・金澤正人(資生堂クリエイティブ株式会社)が撮影。がんサバイバー自身が「大切にしていること」を記入し、「世界で一枚だけのポスター」にしてその場でプレゼントしている。

※LAVENDER RINGにおいては、がんと診断された方、治療中、経過観察中、寛解された、がん罹患したことのあるすべての方たちを「がんサバイバー」と表記している。

【問い合わせ】

練馬区 健康推進課 健康づくり係 電話 03-5984-4624